

稲発酵粗飼料(WCS)の収穫時期とサイレージ調整について

●収穫時期

- ・栄養価の面からすると、糊熟期～黄熟期が刈取り適期です。
- ・予乾を行わない体系であれば黄熟期が刈取り適期です。(水分含量がほぼ65%以下)
- ・乳熟期は牛の嗜好性も良く予乾を行うことで利用可能ですが、水分が多いため乾物収量が減少すると、栄養価も未熟期のため早すぎる刈取りには注意しましょう。

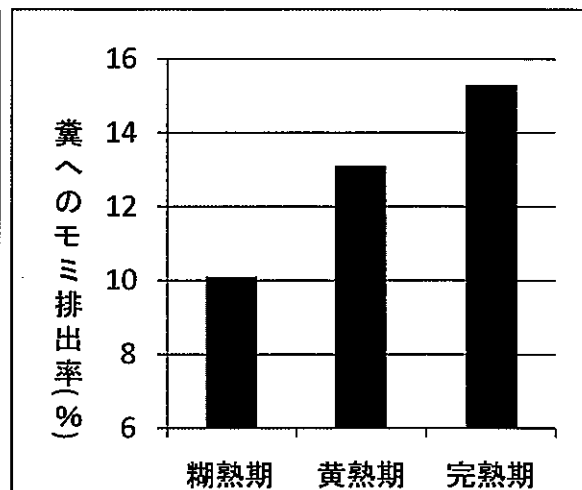
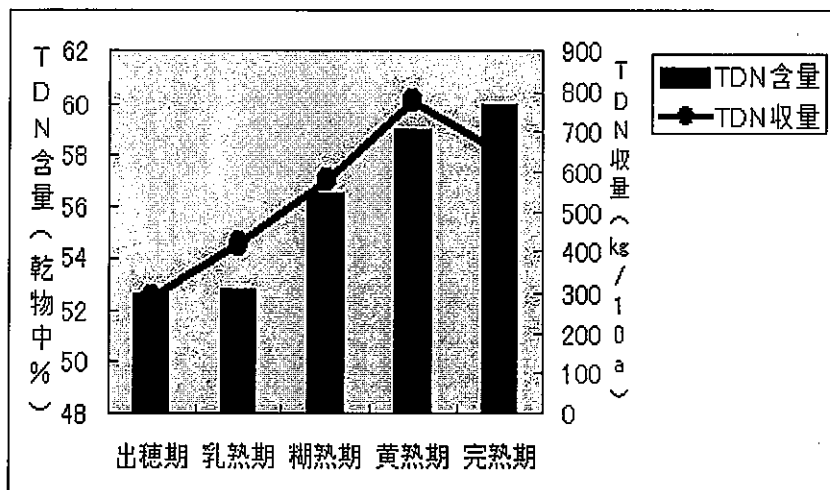


図1: 収穫時期と栄養価の関係 (大河原農業改良普及センター2007) 図2: 熟期とモミの排出率 (東北農試1988)

熟期	出穂後の目安	黄化粃の割合(%)	稲の状態
乳熟期	10日後	0	穎は黄緑色で穀粒葉緑素が存在し緑色。胚乳は乳状。
糊熟期	10日～25日後	0	穎は黄緑色で穀粒葉緑素が残っており黄緑色。胚乳は糊状。
黄熟期	25日～40日後	50～75	穎は黄緑または褐色で、穀粒は葉緑素が消失し黄色。胚乳は口ウ状。穀粒は爪で容易に破碎できる。
完熟期	40日～50日後	95	穀粒は乾燥して固くなり、爪で破碎できない。

図3: 熟期ごとの見分け方

●サイレージ調整について

- ・過度の反転は土砂の混入や脱粒を起こし、サイレージの質を落とします。
- ・優良な乳酸菌や発酵基質となる糖類を添加することで乳酸発酵を円滑に進ませると同時に、有害な微生物を抑え、良質なサイレージ作りを心がけましょう。

●お知らせ

稲WCS現地研修会開催

日 時: 平成23年9月20日(火) 13:30～15:30

場 所: 佐伯市黒沢 ※雨天時は大分部品(株)の会議室及び駐車場で実施

研修内容: ①大分部品(株)の取り組みについて

②稲WCSの給与等について

③汎用型飼料収穫機の概要説明

④収穫および搬送実演会

ご不明な点は最寄りの振興局にお尋ねください。